

平成25年度研究科横断型教育プログラムへの授業科目提供に関する調査票

開講 方式	Bタイプ (特別 開講型)	研究科等名	文学研究科	横断区分	文理横断型	開講 場所	文学部第12演習 室(総合研究2号 館地階)
授業科目名 (英訳)	応用倫理学入門 (Introduction to Applied Ethics)			講義担当者 所属・氏名	文学研究科 教授水谷 雅彦 文学研究科 准教授児玉 聡		
配当 学年	修士 博士後期 専門職	提供 可能 コマ 数	8コマ	開講期	10月3,10,17,24,31日, 11月7,14,28日 木5限 (16:30-18:00)	授業形態	講義+演習
〔授業の概要・目的〕							
「応用倫理学」は、さまざまな実践問題の領域における倫理的思考の総称である。一般にもよく知られた生命倫理、環境倫理のほか、情報倫理、工学倫理など、応用倫理学で扱われてきた領域は多岐にわたる。これらさまざまな領域の倫理問題は、領域に特有のものもあれば、複数の領域に共通して発生する問題もある。本講義では、さまざまな応用倫理領域について横断的に学ぶことで、そうした特有性と共通性について見通しを得ることをめざす。 【研究科横断型教育の概要・目的】 上述したように応用倫理学は多くの専門分野の共通基盤となりうる授業科目であり、本科目の履修を通じて広い視野と新しい学問領域を創造する能力をもつ大学院生を養成することが目指されている。また、他研究科の学生の履修・聴講に配慮した形で授業を運営する予定である。							
〔授業計画と内容〕							
生命倫理、環境倫理、情報倫理、工学倫理のテーマから各二回ずつ講義・演習を行う予定である。リーディングリストは開講二週間前を目処に受講希望者に知らせる。受講者は、あらかじめリーディングリストで指定された論文や著書を読んだ上で授業に出席することが求められる。							
〔履修要件〕							
とくになし。							
〔学修証授与の要件〕							
発言・意見表明等の授業中のパフォーマンス(評価の3分の1)、出席回数(同、3分の1)、レポート成績(3分の1)。							
〔教科書〕							
なし							
〔参考書等〕							
戸田山・出口編『応用哲学を学ぶ人のために』(世界思想社)、加藤尚武『現代倫理学入門』(講談社学術文庫)							
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕							
文理を問わずさまざまなバックグラウンドを持った大学院生の参加を期待する。 ※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。							